

大学入学共通テストが4年目を迎えます！

共通テストでは、「思考力を測る」という出題方針があり、「日常の出来事をテーマにした問題」や「2つ以上の資料を読み解く問題」が出題される関係で、問題文が長いです。共通テストは形式に慣れることが必要なので、共通テスト模試や過去問・予想問題集で共通テストスタイルになじんでいきましょう。そして共通テストの「高校の教科書を基礎」「特定の事項や分野にかたよらない」という特徴もしっかり押さえることも大切です。そして日々の授業での学びを大切に、まずは基礎を理解して、しっかりとした土台を築くことが何よりも重要です。

75期大学生チューターのS. R君(電気通信大学)の言葉です。
「去年の共通テストの数学では、何題か文章の理解が難しく、焦って読み返して悩んで(汗)という問題がありました。平均点が過去最低になったのは、癖のある問題でペースを乱されたせいだと思います。こんな時は他に出来る問題から片付ける方がよいです。つまり基礎となる問題を満点狙いで勉強してください。」とアドバイスをくれました。皆さんも共通テストの特色の高校の教科書レベルの土台作りをこの夏に目指して下さい。

76期生のみなさん、いつも前向きに入試を乗り切ろう！

ベネッセ6月共通テスト模試。結果が帰ってきて、「もうダメだ・・・」などと思いませんか？まだまだ受験は始まったばかりです。ここであきらめるのは、一番後悔するパターンです。みなさんの先輩も最後まであきらめなかった人が合格を勝ち取りました。

最後まであきらめないでベストを尽くす受験生が合格する理由

- ①夏前に6月マークの結果で挫折する人がいて、ライバル減る
- ②9月以降指定校推薦等で、ライバル減る
- ③共通テスト後に、志望を下げる受験生が出て、ライバル減る→そして
- ④(あきらめないで最後までベストを尽くした受験生に)、ラスト3か月の奇跡が起きる！

今年もライバルとなる浪人生は少なめですし、18歳人口も去年より減っています。まさに皆さんにとってチャンスな年です。去年の75期生も、第一志望を貫いた先輩が目立ちました。そして最後まで第一志望に向かってあきらめないでベストを尽くした人が合格を勝ち取りました。75期生は国公立大も早慶上理大もGMARCHも日東駒専も過去最高でしたね！きっと皆さんも先輩を超えていくと思います。

76期生のみなさん、あせりから志望校をあきらめたり、弱気になって教科をしぼったりするとかえってやる気がなくなることが多いです。みなさんが「今」できるポイントをあげます。

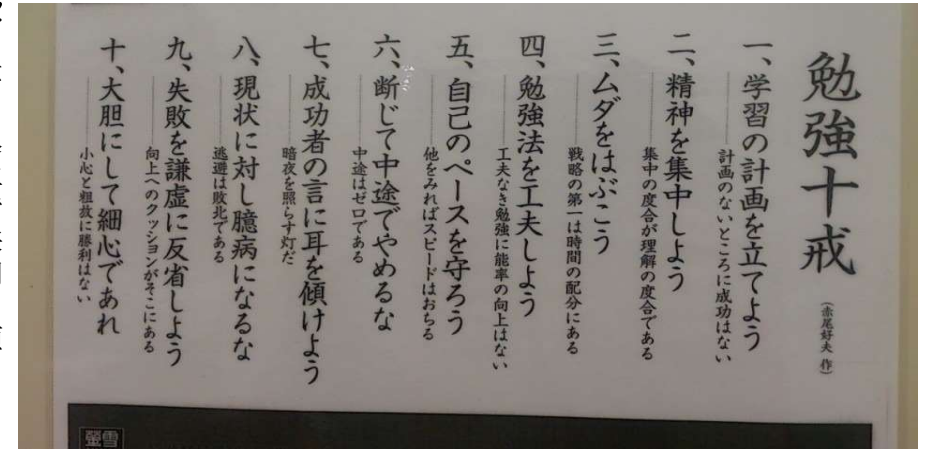
①「授業で学習することは、すべて理解するぞ」という高い集中力で授業を受けきる。そういう雰囲気クラスを作りましょう。自習時間では、各教科の苦手分野を復習(インプット)し、コツコツ演習(アウトプット)する。

②自分の今の成績(ベネッセ6月共通テスト模試の結果)と第一志望の合格ラインとの差を計算し(現状理解)、その差を埋めるためにどの教科で何点上乗せするかを決め(ターゲットの明確化)、それを実現するために、どの分野をいつまでにどのように学習するか見極め(戦略)、実行する。先輩たちもこの時期のD、E判定をひとつひとつ上げていった。最後の模試でどうやったらA、B判定がつくかの計画を立てて頑張ろう。



③視野を広げ、自分の希望に該当する学部・学科を増やし、志望校の数を広げていく(可能性の拡大)。その中から自分に最も合った大学をゆっくり、じっくり見極めよう(進路決定までのプロセスを大事にする)。

加えて、悩みや不安があるときは、遠慮せず、ため込まずに担任の先生や進路指導室まで遠慮なく相談にきてください。後期日程の受験日まで、最後まで一緒に頑張しましょう。



蛭雪時代の勉強十戒

夏を制するものは入試を制す！基礎固めは夏に完成！

いよいよ勝負の夏休みが来ました。この夏を制して、大学合格へと大きく前進したいですね。そのためには、適切な学習目標の設定が必要になります。

そこで、大学合格者の夏休み時点での学習段階に注目してみると、4割の人は基礎力養成、6割の人が基礎力要請～応用～実戦力養成に取り組んでいます。このデータからも、まず基礎を完成させ、学力の土台を築くことが、夏休みに最優先すべき最重要目標と言えます。

また目標を達成するには、計画的な学習でノルマを確実に消化していくことが大切です。大学合格者も、ほとんどの人が夏休み中の計画を立て、進み具合をチェックしながら、勉強をすすめています。とはいえ、彼らの計画も進捗(しんちよく)の管理も、大多数は「おおまか」なもの。背伸びしすぎず、自分に合った現実的なやり方で目標を追いかけましょう。大学合格者の夏休み中の平均勉強時間は8.3時間です(75期大学生チューターの平均は8.6時間)。集中した勉強時間を8時間以上確保して、継続することが大事です。

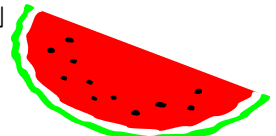
大学に不合格になり、現在浪人している先輩の話を知ると、「夏休みに苦手科目の基礎固めができなかったのが、秋以降応用することができませんでした。今思うと基礎固めを地道に行えばよかったと思います。」

「学習計画がいい加減で、夏休みにやろうと思っていた苦手科目の克服や共通テスト対策が進みませんでした。その結果秋以降やりたかった私大・国公立二次対策に集中できませんでした。今年は、各科目の時間配分を決め月ごと週ごと日ごとにやるべきことを決めたり、計画の調整ができるように調整日をつくってやり残したことを仕上げています」

「1日12時間以上勉強するという無理な目標設定をして、1週間で挫折し、落ち込んでしまいました。持続可能で集中できる勉強時間を設定し、継続することが大事です。」

「受験にワンチャンスはありません。何となくで勉強していると痛い目に遭います。自分は何とかなるといい加減にしていたので、志望校全落ちでした。受験勉強は結局積み重ねです。今まで定期テストなどをしっかりやってきた人が勝ちますが、その反対が負けとは限りません。みなさんにはまだ時間があります。夏からなら挽回できます。」

「苦手科目から逃げてしまい、集中力も続きませんでした。集中力が高まると効率も良くなり、いいことだらけなのに、悪循環から脱出できませんでした。」



大学に合格した先輩に聞く夏の学習のポイントは、

- ①適切な目標と計画をしっかりと立てること
- ②自分に合った生活リズムを見つけて崩さないこと
- ③集中して勉強する時と休むときのメリハリをつける
- ④基礎知識（理系の場合、公式の理解は必須）をしっかりと固める
- ⑤苦手科目克服にとらわれすぎず、得意科目もしっかり伸ばす
- ⑥（学校の講習やスタディサプリや塾の）授業は、予習・復習（重要事項の理解や暗記・問題演習）を行うことで初めて力がつくことを認識する
- ⑦受験科目をバランスよく勉強。得意科目は少し難しい問題演習など発展的な勉強を。苦手科目は基礎固めで弱点克服を。



第一志望合格を勝ち取った上高の先輩から聞く成功体験

【推薦】

「夏休みに、国語の先生主催の医療系の小論文講座に、受験勉強と並行して、参加しました。医療ワードに加え、毎回テーマが出され、添削していただいたり、他の人の良い小論文が紹介され、自信を持って学校推薦型入試に望めました。」（東京都立大学合格）

【生活】

「夏休みは、平均で一日12時間以上は勉強していました。受験が終わって見ると、夏に基礎が身に付いて、受験の登竜門になったと思います。」（早稲田大学合格）

【英語】

「毎日欠かさず英文を読み、リスニング教材を聴いていた。寝る前に単語帳やネクステを開いて翌朝覚えているか確かめた。長文や速読は一度読んだものを時間をはかって読み直した。」（千葉大学合格）

「過去問を解く。TED talkのdictation、summaryをする。速読英単語のシャドーイング、音読など長文の問題集を解く。すき間時間にリスニングをする。」（東京外大合格）

「基本的な単語をターゲット1900ですべて覚えきる。長文を問題集・センター過去問・共通テストの過去問を解きまくった。英文法（ネクステ）は特にイディオム・語法メインで繰り返し行った。」（法政大学合格）

「毎日1題長文を読んだ。昼食などのすき間時間にリスニング対策（私は英会話のポットキャストを聞きました）」（早稲田大学合格）

「共通テスト+センター10年分、1日1長文読みその日解いた長文を音読、スマホ版単語帳毎日30分、夏期講習をこなした。」（明治大学合格）

【数学】

「共テ演習よりも夏休みは、教科書に即した問題集や参考書で基本的なことを復習しながら、根本を理解することが大事。最後は過去問（お勧めは芝浦工大）」（中央大学合格）

「数学は、青チャートの例題、問題集の基礎問題を解くことで、公式を身につけました。そして類題に取り組むことで、公式の使い方がわかってきます。苦手分野だと教科書の練習問題にさかのぼることもあった。」（千葉大学合格）

「数Ⅲを使う人は、夏休み中に終わるのがベスト（終わらなくても習ったところの復習はしたい）。数ⅠAⅡBはチャートを何回もやり、解き方をマスター。夏休みは1日10時間以上勉強して、体力をつけよう！」（中央大学合格）

「数ⅠAⅡBは7月中にチャートの基本例題を3周以上して理解できたら重要問題集のA問題を完璧にした。数Ⅲはフォーカスゴールドを買って、毎日3時間は数Ⅲをやっていた。コラムまで目を通すとより理解できる。河合出版の『錬磨』今思えばやる価値はあった。」（東京工業大学合格）

【国語】

「現代文の選択肢を選ぶ問題で間違えたとき、間違えた理由をメモしました。古文は単語の意味を理解し、助動詞と形容詞に注目し、読みました。そして単語や文法を暗記しまし

た。漢文は句法が大事です。句法は声に出し、例文とセットで覚えました。」（早稲田大学合格）

「古文は単語帳を見ていて意味がスッと出てこなかった部分を何周かしていた。古典文法もあいまいなものを総復習した。漢文は重要句法と複数の使い方を持つ漢字を頭に入れた。古文・漢文とも音読して勉強するとよい。」（千葉大学合格）

「古文は、古典文法・古文単語を完璧にした。自分のレベルのより下の過去問を解いた。」（東京学芸大学合格）

「現代文は、現代文単語の復習や解説が詳しい分かりやすい参考書で1週間に4題を目安に解いた。それ以外の日は前に解いた問題の復習や参考書や模試の直しをして、どうしてその解答になるのか自分で説明できるようにした。」（早稲田大学合格）

【理科】

「物理の公式は、自分で導き出すと理解が深まり、解ける問題が増える。数学と同様根本を理解することが大事。物理は問題演習を繰り返し、間違えた問題は理解できるまで解答を読み込む。化学は単位を意識して公式を覚えると簡単。化学は基礎を完成させた後、問題演習に集中して取り組む」（東京工業大合格）

「生物は教科書を読み、用語と定義をしっかり暗記。生物は計算問題は少ないので、パターンをつかむとよい。」（東京農業大合格）

「物理は参考書1冊をしっかり理解してから模試の直しをした。化学は授業で習った範囲までを参考書で復習し、未習の部分は教科書を1周目を通した。」（東京都立大合格）

【地歴公民】

「日本史や世界史では、教科書などで事件が起こった理由や背景を流れて覚える。教科書メインで攻略するとよい。」（青山学院大学合格）

「地理は複数の資料を使った問題をたくさん解き、資料集をチェック」(学習院大学合格)

「政治経済（倫理）は共通テスト向け参考書をフル暗記する位まで読み込む」(千葉大学合格)

「世界史や日本史は教科書で流れをつかんだ後、一問一答形式の問題集をすき間時間にやると良い。ライバルの友達と問題を出し合い、競うのも効果的」(明治大合格)

様々な入試制度！情報収集が大事！

大学入試は、一般入試だけでなく、学校推薦型入試、総合選抜型入試などどんどん複雑になっています。一般入試も英語検定利用入試など様々な方式がありますが、まずはじっくりインターネットやパンフレットなどで情報を集めましょう。

入りたい大学・学部・学科には「どんな入り方（入試方式）があるか」、その中に「自分に最も合っている（力を発揮できる）入試方式があるか」、そして「その入試にいどむには、どんなスケジュールで対策を進めればいいのか」を把握することが重要です。一般入試では、赤本をチェックすると傾向がつかめます。「敵を知り、自分を知って対策を練れば」最高の作戦が立てられるのです。自分に合った入試方式をよく見極めて自分で選択することが、モチベーションのアップにつながり、合格可能性を上昇させる秘訣です。



赤本は、自習室で自由に閲覧できます。最新の赤本は進路室においてあります。翌日まで貸出可能なので、積極的に利用しましょう！